

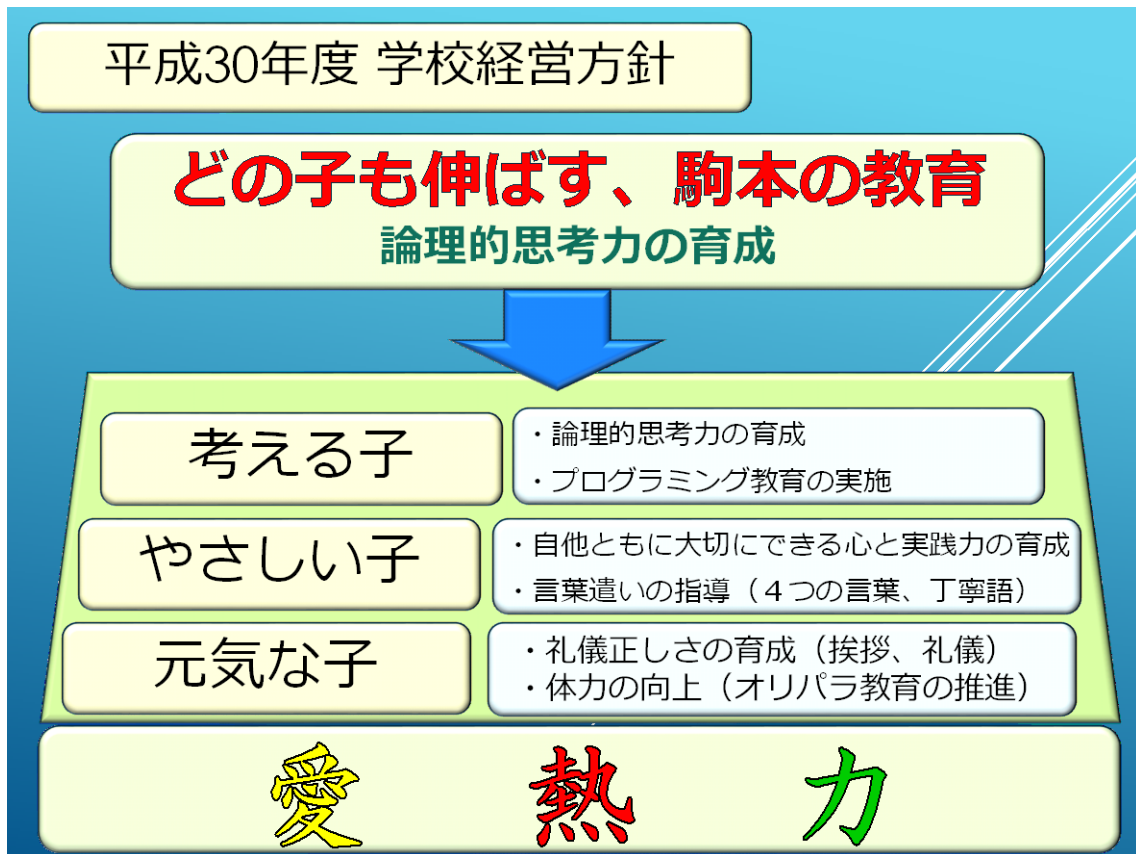
平成30年度 駒本小学校の教育活動について

文京区立駒本小学校
校長 田中 克昌

1 学校経営の基本理念と重点目標

愛と熱と力の駒本 どの子も伸ばす、駒本の教育

「愛と熱と力の駒本」を学校経営の基本理念とし、駒本インクルーシブ教育システムの発展を目指しつつ、「どの子も伸ばす、駒本の教育 ～論理的思考力の育成～」の実現を重点目標とします。



2 本校の教育目標

人間尊重の精神に基づき、自主的精神にあふれた心身ともに健康で人間性と社会性豊かな児童を育成するため、次の教育目標を設定し実践する。

- (1) 考える子(知) 基礎学力の定着、論理的思考力・表現力の育成
- (2) やさしい子(徳) 自他共に大切にできるコミュニケーションスキルの育成
- (3) 元気な子(体) 礼儀正しく、健康でたくましい心身の育成

(1) 考える子の育成

子どもたちの学習意欲を高め、基礎学力の定着を図り、論理的思考力・判断力・表現力を高め、問題解決能力の向上を図り、自らすすんで学習する子どもたちを育成します。また、学習指導要領の改訂に向けて、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。

【学力の向上】

・全教員が全授業で問題解決型の授業を行い、授業のユニバーサルデザイン化を取り入れ、個別的な支援や配慮を確実に実行し、論理的思考力の育成を図れるよう教員の授業力の向上を図ります。

・「東京都プログラミング教育推進校」の指定を2年間受け、幅広いプログラミング教育を実践し、その成果を発信します。

・読書活動を推進し、読書を通して情操や感性を育み、学ぶ楽しさを味わわせ、主体的な学習態度を育成します。週3回の朝読書の実施、読書の質の向上に向けた具体的な取組を学校図書館支援員や区立図書館と連携し実施していきます。

(2) やさしい子の育成

自己を大切にし、他者も大切にできる人権尊重の精神に基づき、自己肯定感、自尊感情を高め、我が儘を言わない、我慢強い、相手を思いやる、先を譲れる、つよい心をもったやさしい子の育成に努力します。本年度も、言葉遣い（4つの言葉、丁寧語）の指導と自他共に大切にできるコミュニケーションスキルの育成を重点的に行います。

【豊かな心の育成】

・いじめ、不登校、「0」を目指し、子どもたち一人一人を大切にされた教育活動を展開します。

・児童の自尊感情、自己肯定感を高めるため、道徳教育を中心とした取組を展開し、自己も他者も大切にされたコミュニケーションスキルを向上させるために、アサーションプログラムやリフレーミングを年間を通して計画的に取り組み、道徳授業地区公開講座において広く保護者に公開します。

(3) 元気な子の育成

挨拶、言葉遣い、学習ルール等、礼儀正しく生活し学習できる子どもたちを育成します。

体力の向上についても年間を通して計画的に具体的方策を実施し、心身共に「元気な子」の育成に努力します。

【礼儀正しさの育成】

・居ずまいを正した挨拶を朝のみならず校内での挨拶の指導を行い、挨拶の音が響き渡る学校にします。

・言葉遣いの指導を重点化します。特に、「です」「ます」の丁寧語、4つの言葉「はい、ありがとうございます、お願いします、ごめんなさい」の指導に力を入れ、丁寧な言葉遣いができる子を増やします。

・学習や生活の標準的なきまりである、駒本スタンダードに基づき、全教員・全児童がきまりを共有化することで、安心して過ごせる学校環境を向上させます。

【体力の向上】

・休み時間での遊びや体育科の学習、全教育活動を通して、計画的に体力向上に向けた取組を実施し、体力を向上させ、つよい身体をもった子の育成に努力します。

・2020年のオリンピック・パラリンピックの開催に向けて、オリンピック・パラリンピック教育を各学年年間35時間程度実施していきます。